

印西市企画提案型協働事業 事後評価シート(比較表)

1. 協働事業の概要

事業名称		道作古墳群歴史広場維持管理事業
事業の実 施者	実施団体名	NPO法人 小林住みよいまちづくり会
	所管部署	生涯学習課
事業の趣旨・内容		市指定史跡道作1号墳、4号墳、5号墳が所在する歴史広場の草刈りなどの維持管理 や古墳見学会を開催し、市民が安全に憩える場所にする。 内容:草刈り(年10回)、枝下ろし(年2回)、落葉・枯枝集め(2回)、施設点検(6回) ・古墳見学会 平成27年4月4日(日)参加者80名 ・小林ウォーキング大会(道作古墳見学)平成27年11月14日(土)参加者60名
実施期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日

2. 事業の評価

(協働事業審査開始前)	設問	小林住みよいまちづくり会				印西市			
		1. 実施した 2. しなかった				1. 実施した 2. しなかった			
(協働事業審査開始前)	Q1 申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	2 回				2 回			
	Q1で実施したと回答した場合 相談や協議は何回行いましたか。	2 回				2 回			
	相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q2 不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。								
(協働事業審査後、3次審査前)	Q3 第2次審査終了後から第3次審査までに申請者と関係各課との間で何回協議を行いましたか。	1 回				2 回			
	Q4 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	1. した 2. しなかった				1. した 2. しなかった			
	Q5 パートナーシップの考え方や協働事業の取り組み方等を双方で確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q6 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q7 協議は対等・協力的に行えましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q8 共有すべき課題について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q9 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q10 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。								

	設問	小林住みよいまちづくり会	印西市
協働事業実施中	Q11 打ち合わせ(協議)を何回行いましたか。	2 回	2 回
	Q12 事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	1. 行った 2. 行えなかった	1. 行った 2. 行えなかった
	Q12で行ったと回答した場合 報告や現地確認は何回行いました	報告 16 回 現地確認 2 回	報告 10 回 現地確認 5 回
	Q13 当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。	十分できた できた 不十分 全くできなかった	十分できた できた 不十分 全くできなかった
	Q14 当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。	十分できた できた 不十分 全くできなかった	十分できた できた 不十分 全くできなかった
	Q15 打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	1. 残した 2. 残さなかった	1. 残した 2. 残さなかった
	不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。		
協働事業実施後	Q16 成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	十分できた できた 不十分 全くできなかった	十分できた できた 不十分 全くできなかった
	成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。	・機関紙「瓦版」による活動状況の紹介(平成27年4月、10月号)ならびにホームページによる活動結果の報告(14回)を行った。	・見学会の開催について、市広報誌などを通じて、参加者などへの周知を行ったほか、実施後には会の会報紙などを作成し、情報発信している。
	Q17 役割や責任分担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない	1. 適切 2. 適切でない
	適切でないと回答した場合はその理由を記入してください。		
	Q18 資金負担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない	1. 適切 2. 適切でない
	適切でないと回答した場合はその理由を記入してください。		
	Q19 課題の克服やニーズに応えることはできましたか。	十分できた できた 不十分 全くできなかった	十分できた できた 不十分 全くできなかった
	不十分と回答した場合はその理由を記入してください。		
	Q20 当初設定した成果目標は達成できましたか。	十分できた できた 不十分 全くできなかった	十分できた できた 不十分 全くできなかった
	不十分と回答した場合はその理由を記入してください。		
	Q21 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。	1. 思う 2. 思わない	1. 思う 2. 思わない
効果がなかったと思えない場合はその理由を記入してください。			

設問	小林住みよいまちづくり会	印西市
自由意見欄 協働事業を実施して感じたことやご意見などがありましたら記入をお願いします。	・協働事業の原則として所管部署と対等の立場で議論し、議論した結果をお互いの立場を理解し合っ て計画に反映できる点は良いと思いました。新規協働事業の提案が少ないのが残念です。NPO側の提案だけでなく、行政側からNPOに呼び掛ける提案も欲しいものです。	

市民活動推進課・総括

当提案は、道作古墳群歴史広場を市が整備したことをきっかけに、小林地区の活性化をミッションに活動する小林住みよいまちづくり会が維持管理及び活用を図る協働事業として採択されました。企画提案される以前から古墳の草刈りを提案者が実施していたこともあり、提案者と協働担当課とのコミュニケーションは当初から円滑だったようです。また、文化財普及イベントとして行われている古墳見学会では、市職員が出土資料の展示解説を行うなど、さまざまな場面で協働の取り組みが行われています。

提案者は今後も維持管理を継続していく意向で、イベント実施などについても積極的に行っていく考えです。協働担当課としても提案者に管理を継続してほしいと考えております。

本事業は、提案者と市の優れた協働のマッチング事例として、成果を挙げているものと思われます。